



各種溶液の滴下による腐食性評価

試料を加熱しながら各種溶液の滴下による腐食性を評価いたします。

滴下による腐食性評価

海水、洗浄水などの飛沫を浴びるような環境で使用される材料を想定して、溶液を直接滴下することにより実環境を模擬した環境下での腐食を再現することができます。試料を加熱することによる加速試験も可能です。また、ワンショット3D形状測定機(VR-6000)と組み合わせることで、試験後の表面の腐食形態を数値化することができます。

試験装置の特徴

試験装置の構成と試料セット状況を写真1に示します。

- ・ 試料サイズ：最大50mm×50mm(厚み:5mm程度) ※ ご希望のサイズありましたらご相談ください
- ・ 試験溶液： 水溶液(酸、アルカリ可)
- ・ 試料温度： 40℃～100℃ ※ より高温の場合、ご相談ください
- ・ その他： シース熱電対により試料の表面温度を連続的に記録することが可能です(図1)

※ 試験装置は、お客様のご要望の試料に合わせて改造することは可能ですので、お気軽にお問い合わせください

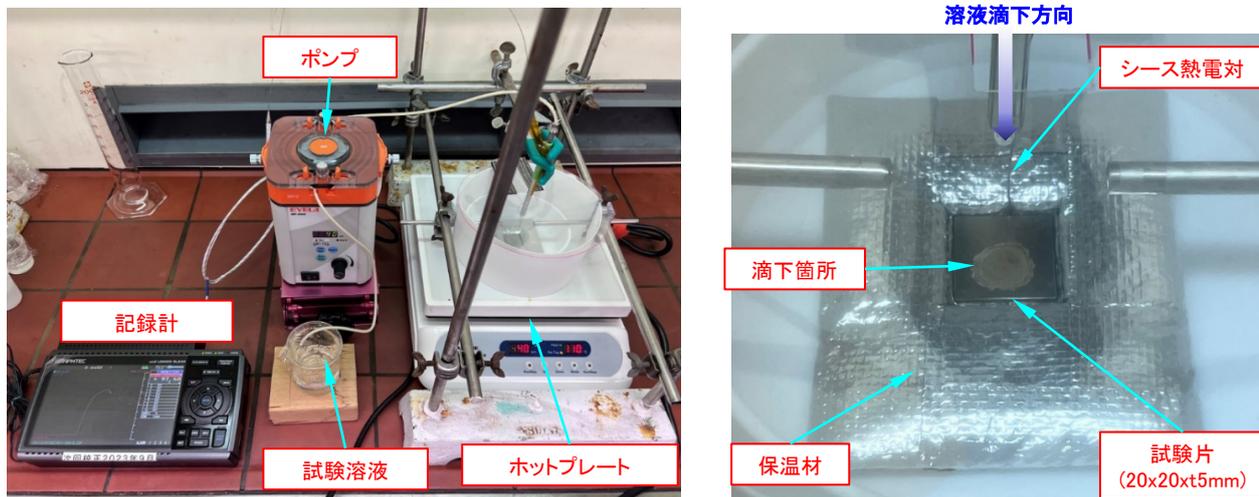


写真1 滴下試験装置の全体写真と試料セット状況

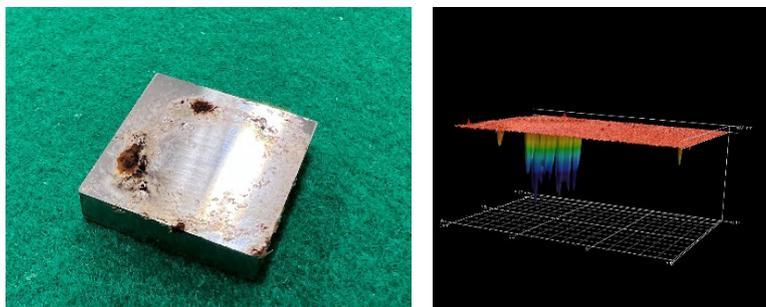


写真2 滴下試験後の試料表面形状の一例

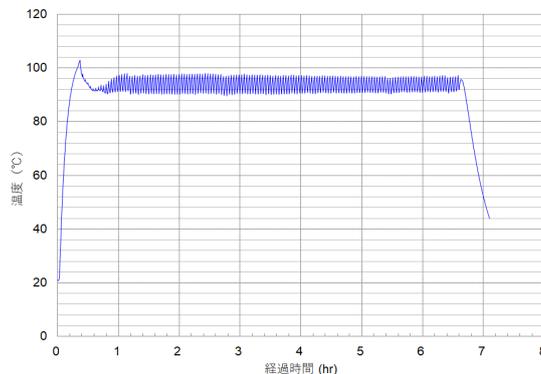


図1 滴下試験中の試料表面温度計測の一例(目標温度100℃)

● 試験後試料の表面形状観察

- ・ 写真2で示すように、試験後試料の表面粗さなどの表面形状を、汎用性の高い非接触型測定装置により測定可能です。(Cat. No. 3E2J-214-00-220818『精密3D形状測定～表面粗さから部品形状測定まで～』)



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2023 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved. 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。